

2022年4月4日

積水化成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原正人）は、カーボンニュートラルの実現に向けて、当社グループに太陽光発電システムの随時導入を進めています。この度、株式会社積水化成品天理に新たな太陽光発電システムを設置し、発電を開始しました。

## 積水化成品天理 再生可能エネルギー設備（太陽光発電）を稼働開始

### 1. 背景

近年、SDGsやESGに象徴されるように、世界規模での環境問題や社会問題に大きな関心が寄せられる中、当社グループでは、2020年7月に策定した「SKG-5R STATEMENT」において、2030年までにCO<sub>2</sub>排出量（Scope1+2※1）を2018年度比で27%削減するという目標を設定しました。さらに現在は、2050年度カーボンニュートラル（排出量ネットゼロ）実現に向け、生産活動に使用するエネルギーを、化石エネルギーから再生可能エネルギーに転換していく方針を掲げています。

### 2. 概要

この度、株式会社積水化成品天理（奈良県天理市森本町670）の建屋上に、太陽光発電システムを設置して発電を開始しました。同敷地内で使用する電力の一部を本システムで補うことができ、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組みます。

#### 太陽光発電システム

- |           |                             |
|-----------|-----------------------------|
| ● 所在地     | 株式会社積水化成品天理<br>奈良県天理市森本町670 |
| ● 敷地面積    | 3,000m <sup>2</sup>         |
| ● 発電規模    | 200kWh                      |
| ● 年間推定発電量 | 360,000kWh                  |
| ● 発電事業主   | 関西電力株式会社                    |



### 3. 今後の展開

積水化成品グループは、環境と共生するモノづくりを原点とし、コーポレートメッセージ「人と地球の、美しい未来へ。」の具現化に向けて、サステナブルな事業活動に注力しています。再生可能エネルギーへの転換を、グループ全体に展開していくとともに、生産プロセス合理化と省エネ推進、環境投資枠活用による新規プロセス開発と新規生産設備導入、サステナブル・スタープロダクト（環境貢献製品）※2の創出と事業拡大を通じ、カーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

※1 Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出  
Scope2：他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出

※2 サステナブル・スタープロダクト（環境貢献製品） <https://www.sekisuikasei.com/jp/csr/csr-foundation/csr-consideration/environment/eco-products/>